

JUNKO IKEGAMI & HIROE KAKU

池上淳子&加来比呂恵 大洋測量設計株式会社(宇佐市)



MY PRESENTATION for BLOCKS



大洋測量設計株式会社について

いくつになってもがむしゃらに働ける!

未経験から建設産業に飛び込み、20年近く活躍されているお二人に、女性が建設業界で長く働き続ける秘訣を伺いました。



■お二人の仕事内容は?

池上設計を担当しています。主に土流やがけ崩れから人々を守るための砂防ダムや擁壁などを設計をしています。
加来私は測量をしています。測量は、物を作る前の段階で必要なデータを正確にきれいに提供することが大切です。」

加来「結婚して子どもがいると、どうしても家庭優先になる場面がありますよね。会社はそうした事情にも理解があり、子どもの行事に参加するのも『行っておいでー』って言ってくれます。」

池上「最終的には本人のやる気次第ですが、この仕事でしっかり食べていく気持ちがあれば大丈夫です。」

■求める人物像は?

加来「先回りして行動できる人が理想です。興味を持って自分から積極的に取り組む姿勢が大切です。」
池上「私たちもしっかり育てるつもりで教えます。コミュニケーションをしっかり取ること、わからないことは早めに伝えることが大事です。」

■今の仕事に就くまでの経歴は?

池上「美術学校で仏教美術を学んでから神社で巫女をしていました。その後、働きがいを求めて測量設計コンサルタント会社に転職し、土木設計を学びました。紹介を受けて今の会社に入り、最初はパートだったのですが、3ヶ月後に正社員に。」

池上「娘がよく仕事の話をしていたので、それで興味を持ったみたいです。『どんなことをしているのか見てみたい』と言われたので、うちの会社でインターンをすることに。簡単な仕事だけをさせましたが、本人は楽しんでいました。」

池上「BLOCKSの成果発表を経験して、自分の意見をしっかり伝えられるようになり、人前で話す度胸がつかえました。自分の考えを発言できるようになったことにより、周囲にも認められ、その結果、多くの仕事をまかせてもらえるようになりました。」

加来「私は、スーパーの店員からスタートし、職業訓練でCADを学び、面白さを感じて測量設計会社に転職しました。」

加来「若い人がこの業界に興味を持ってくれるのは嬉しいことです。建設業界は『きつい、汚い』sというイメージがありますが、女性がこの業界に入ると嬉しいですね。」

加来「成果発表では、RCGM資格を取得し、管理技術者として業務をマネジメントしたいと宣言していました。今では、管理技術者として業務に携わっています。今後も更なる成長を目指して頑張りたいと思います。」

■今の会社が続いている理由は?

加来「居心地、人、環境が良いです!社員43人のうち8人が女性で、女性でも正当に評価してもらえます。」
池上「女性社員が多く、気の強い女性も多いので(笑)、お互いに言いたいことを言えて、風通しの良い職場です。」

池上「女性が技術職を目指すのは簡単ではありません。高校卒業後にいきなり設計をしても、どこから手をつけていいかわからないと思います。私も最初は全く分からなかったで、教えてもらって一つずつ覚えていきました。簡単な仕事はありませんが、それだけやりがいもあります。」

池上「がむしゃらにやり続けることで、自分に返ってきます。努力が評価され、やればやるほど成長し、正当に認められます。」

■女性が働きやすい職場環境について

池上「10年前は残業が多く、忙しい日々でしたが、最近は働き方改革が進み、仕事の役割分担をすることで、働きやすさが増えています。私自身も要領が良くなり、昔より多くの業務を担当しています。」

加来「システムや機械がどんどん進化していくのに合わせて、自分たちも勉強して、少しずつ成長していく気持ちがあれば大丈夫!責任のある仕事を任せられるようになってほしいです。」

加来「経験やスキルが身につけていくのを実感しています。私たちが負けず嫌いなので、これからも頑張ります!」

YUUKA KANAMARU

金丸優花 株式会社宇佐建設(玖珠町)



MY PRESENTATION for BLOCKS



株式会社宇佐建設について

現場大好き女子!
出産と育児を経て変化したもの

■秘めたる建築への情熱

高校は土木科に進みました。理由は「宿題がないから」です!(笑)
現在の仕事内容は営業ということで、見積もりや取引先との打ち合わせが主な業務です。現場には工事が始まる前の様子見などで足を運ぶ程度ですが、もともとは現場仕事が好きでしようがなかったです。橋梁伸縮工事は交通規制をかけて行うため、作業時間が決まっています。時間内に必ず工事を終わらせるには現場のチームワークが重要。現場で働くことに憧れていたの、初めてチームの一員として現場に出た時の達成感と嬉しさは、今でも覚えています!

保育園から呼び出しがあっても遠い現場からはすぐに戻れません。「チームワークが命」の現場で、周りのみんなに迷惑をかけるのは心苦しく…。今まで通り働き続けることが難しくなったとき、会社への申し訳なさ、自分に何ができるのか?と不安が湧いてきました。そんなタイミングで現場仕事からデスクワークに業務を変更することとなりました。社内にも子どもと二人になれる子ども部屋を用意してくれたり、子ども用のお菓子を用意してくれたり、子ども連れて出勤しても働きやすいように会社全体がサポートしてくれました。はじめはやはり「現場に行きたい!」という思いが強かったのですが、だんだん自分のこだわりよりも「何でもいから会社の役に立ちたい」という思いが芽生えてきました。BLOCKSで学んだことを参考に、会社案内パンフレットをつくりおしたりもしました。

実際に入社するまでは現場の雰囲気しか知りませんでした。社長の勧めでBLOCKSに参加した時には、こんなに女の人がいるんだ!と驚きで。みんなの楽しそうな姿を見て、「負けてらんない、私もやるしかない!」と俄然やる気がわいてきました。私が会社で女性技術者第1号でしたが、今は後輩が2人います。一人は施工管理業務、もう一人の女性社員は元看護師で今は積算担当になっています。彼女は、昔は素通りしていた道路工事も、どんなことやってるんだろう?と気にかかるようになったらしいです。(笑)
これから建設業を目指す人に伝えたいことは…とにかく楽しい!
3歳の娘が「コンボに乗りたい」と言うので、じゃあ大きくなったら重機オペレーターだね、と話しています。子どもが建設の仕事やりたいって言ったなら?もちろん「いいやん!やりよ〜!」って言いますよ!

■女性が建設業に入ることについて

■ライフイベントによる環境の変化
現場を離れるきっかけは、妊娠、出産でした。現在は5歳と3歳の二人の子どもを育てながら仕事をしています。子どもが小さいうちはどうしても体調を崩しやすくて。急な子どもの発熱で欠勤することもあるし、

女性に向けて
期待すること

大事なものは環境づくり
女性も企業もさらに成長していく



株式会社安東建設
代表取締役
上田真生氏

女性が
変えていく
建設業の
新しい未来



佐々木建設株式会社
代表取締役
佐々木康介氏

建設業は長らく男性中心の業界でしたが、力仕事や汚れといった理由に加え、女性が少ない環境が就職の障壁となっていました。しかし近年、女性の力を活用し業界を活性化させる動きが進み、活動の一例として「BLOCKS」が挙げられます。女性の進出により、職場の雰囲気が向上し、男性の身だしなみや意識も変化しています。女性には、男性が苦手とする分野のサポートや分業の推進が期待されており、互いの強みを活かして働くことが建設業の発展につながると考えられています。男女が協力して業界を盛り上げる未来を目指し、一緒に頑張りたい!

現在7名の女性技術者がいますがそのうち4名がお子さんがいます。内2名は産休、育休中です。女性が活躍出来る環境づくりを進めています。技術者としても令和6年より緩和措置があった資格を取得するなど第一線で活躍しています。施工管理書類においても女性技術者が欠かせない存在となっています。今後建設業においては女性が活躍する場所が多くあるように感じていますし、技術者としての成長を見ていくと、頼もしく嬉しく思っています。そして、男女問わず若手が働きやすい環境整備促進が企業に求められていると感じています。



株式会社クイック工業
代表取締役
佐藤圭介氏

必要なのは
「女性の力」
建設業界を
支える力



西日本土木株式会社
常務
井元克幸氏

生産性の高い
「働き方改革」
女性の可能性は
無限大

女性には無限の可能性を感じています。特に地方では、男性が県外思考が強いこともあり、優秀な人材は女性の割合が非常に高いと感じます。まさに地方における女性活躍は必然とも言えます。また「働き方改革」は女性に適性があると感じます。当社の女性社員は、明るく、オンとオフがハッキリしており、期限厳守、やる時はやる、非常に生産性が高い働きぶりです。理想のワーク・ライフ・バランスを目指し、逆算して仕事が出来ていることが成果に繋がっていると感じます。正解が見出づらいつらい今の時代において、女性の感性は益々必要になってきます。「女性活躍」は社会を変える大きな原動力です。

基本男性中心の産業である建設業に女性がいることで、誤解を恐れずに言えば、「華やかく」オッサンの心に潤滑油が回る」「会社に戻るときの格好が小奇麗になった」などは先ずあります。(笑) 仕事面では書類作成時のための細かさなどは、格別のものがありますし、現場での地元対応などは、どんなベテランも敵わない。事務方では今でも主戦力、DXが進む建設現場でも無くてはならないポジションになりつつある。ジェンダーフリーの観点からは間違っているのかも知れないが、今の建設業界には「女性ならではの力」は必要であると痛感しております。

女性の活躍
繊細な心配りが
大きなメリットをもたらす

固定概念を超えて
イノベーションを起こしてほしい



株式会社高山組
代表取締役
高山茂明氏

女性が
いれば
建設業はさらに
楽しくなる



三浦国土建設株式会社
代表取締役
三浦宏之氏

会社に女性がいて、女性ならではの価値観や経験からのアイデアがたくさん生まれます。それを活かして地域の皆さんに楽しんでもらえるような工事看板を作成したり、現場のバトロールをすることで、工事現場のイメージアップに繋がっていると思います。まだまだ「建設業=男性」というイメージが強いですが、建設業こそ女性が活躍できる仕事です。これから女性社員が増え、さらに明るく楽しい建設業になればいいと思います。

今、建設業は女性の活躍が求められております。また現場業務も建設DX、ICTなど様々な形で女性が働ける環境がずいぶん整備されてきました。女性ならではの気配り、感性、従来の慣習にとられない発想、生活者としての視点等の強みを生かして、業務を改善していきける可能性は無限にあると思います。BLOCKSでの出会い、学びによって従来の「建設業は男性の仕事」という固定概念を超えて、会社にイノベーションを起こしてくれる事を期待しています。



株式会社堀土木
代表取締役
堀秀暢氏

建設業界に女性がいて、これは「細かな点に気づき、それをしっかりカバーしてくれる」という点に顕著に現れると思っています。男性だけの企業には不足しがちなデリケートな感性は、地域社会の首脳に提供する成果物にも大きなメリットをもたらしてくれると実感しています。施工中の細かな配慮、広報活動、現場へのサポート...どれもとっても繊細な心配りなくしてはうまく進みません。女性ならではの視点・感性は欠かせないものと実感しています。これからも女性の活躍に期待しています。

女性が建設会社にいることで、「社内の雰囲気が明るくなった」や「細かな心配りがとても助かっている!」と言われることが多いです。また、業務における連携や結束力についても本当に素晴らしいと思います。この連携力や結束力こそ、女性が持つ特有の強みだと確信しています。この強みをさらに生かし、横のつながりを深めることで、建設業界で活躍する女性たちの存在を広く発信して欲しいです。一人ひとりが輝き、意欲を持って働ける女性が増えることを願います。



株式会社後藤組
代表取締役
後藤ひとみ氏

連携力・結束力
女性の強みを
発信してほしい

1 建設産業における女性の役割と働きやすさ

女性だからと働きにくいことはありますか?

- 生理などの体調不良時にはやはり同じように働くことが難しい
- **特にありません! 女性だからできることが多い**
- 職人さんなどは、女性に話しかけにくそう。気を使ってくれるので、なかなか仕事を頼まれない
- 家事も担っているため、早朝や夜間の仕事は家庭の協力を要する
- **働き方改革により、休みもとりやすくなり働きやすくなっていると感じる**
- 様々なお仕事があり、選択すれば働きにくいということはない

女性に難しい仕事がありますか?

- 体力や力、体格が必要なもの
(重いものをもつことなど、でも台車があれば大丈夫!)
- 特になし
- 実際に重機に乗ったりするのは難しい



2 業務内容と職場環境

会社にどれくらい女性がいますか?

- 1人
- 2人
- 4人
- 技術職3人
- 事務のみ6名
- 15人のうち4名
- 1割
- 25%
- **技術職は少なめ**
(事務職5、技術者2)

始業時間と終業時間は何時ですか?

- 8:00~17:00
- 8:30~17:00
- 8:30~17:30
- **始業時間が選べる (7:30~9:00)~17:15**



残業は月にどのくらいありますか?

- 1~2時間
- 1~3時間
- 6時間
- 10時間以内
- 平均15時間
- **繁忙期に集中**
- ほぼない
- 時短もあり

最大何連休されましたか? その目的も教えてください!

- **10連休で旅行**
- 3連休でライブ
- 9連休
- 6連休 夏期休暇
- 5連休 年末年始で遺品整理
- 12連休
- **新婚旅行**



3 やりがいとキャリア形成

自分が役に立っていると思うことは何ですか?

- ありがとう、と感謝をされたとき
- **仕事を任されたとき**
- 会社のPR
- BLOCKSで情報交換し、会社にフィードバック
- コミュニケーション
- 残業を減らした
- 書類作成がスムーズにいったとき
- 自分がんばることで、会社のイメージがあがる
- 現場のサポートができているとき
- PC技術
- **イベントなどで女性がいると印象が変わって仕事がしやすいと言われた**



女性社員がもっと増えた方がいいと思いますか?

- 社内の雰囲気が変わるので **もっともっと増えてほしい**
- 周りに女性がいることで、相談できること
- 女性社員が増えたら女性の能力に特化した部署も作れる
- **女性ならではの視点も必要**
- 人材不足のため女性が活躍すると重宝される
- 女性だけのチームを作ってもおもしろい
- 現場にまだ女性が少ないから、話し相手ができるといい!
- 男性も女性も増えてお互いを理解することが大切



夏の作業着には何か機能がついていますか?

- メッシュ素材(通気性がよい)
- 空調服(ファンがついたジャケット)
- 冷却機能
- 下着が透けにくい

きつと感じる仕事はありますか?

- **7月・夏の舗装**
- 3月新しい発見が多くて、びっくりすること
- 外での作業
- 夜間勤務(代休あり)
- きつくない

IT化やDX化によって大きく変化したことは?

- 電子黒板を使うことによって、業務効率が上がった
- 社員のスケジュール把握ができるようになり予定調整しやすい
- **ミスが減って効率アップ**
- 省人化・データの共有
- **女性にできることが増えた**
- 測量の手間が減った
- 仕事が早く終わるようになった
- 雨でも作業が進む
- コミュニケーションがとりやすくなった
- 現場写真がクラウドで見れるから早い手間が減る



建設産業ならではの社風や厳しい師弟関係などはありませんか?

- **年配の方が多いため孫のようにかわいがってくれる**
- 特に感じない
- 常識の範囲内
- **みんな優しい**
- 言葉使いが荒い

どうして建設産業を選んだのですか?

- 土日休み・休みやすい
- 今まで経験していないことをしたかった
- 誘われた・紹介
- 建物が好き
- お給料が高い
- 地元が災害で被災したため貢献できる仕事がしたいと思った

- 道路や建物などインフラを作っているところが楽しそうだった
- 小さい時に見たテレビ
- いろんなことに挑戦できる
- 安定している
- 両親が建設産業で働いていて、憧れた



やりがいを感じる瞬間は?

- ありがとうという言葉
- 自分の仕事が形となって目に見えたとき
- 自分が持った現場が完成したとき
- 意見が取り入れられたとき
- 現場完了して地域の人にほめてもらったり、お礼を言われたとき

- 現場が終わったときの達成感それがいつまでものこる
- 仕事ごとれたとき
- 人の成長



4 tell me BLOCKS 採用・スキル・資格

どのような手段で採用を行っていますか?

- ハローワーク
- HP
- パンフレット
- 合同説明会
- 就活サイト
- インターンシップ
- SNS
- 学校
- offerbox



求人サイトで比較も簡単! SNSでは会社の雰囲気も知れてイメージしやすい

資格取得は必須ですか? 資格の優位性はありますか?

- 資格があるとお給料がアップ
- 必要
- 必須ではないけどあったほうがいい
- 現場では大型や中型の車両免許
- 会社で取得の補助もある

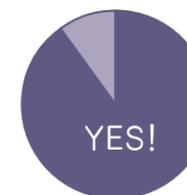
元々その仕事が好きで入ったんですか?

- 全然知らなかった
- 3Kの印象があったけど、今はやりがいがあって楽しい
- 誘われた
- ちょっとだけ興味
- たまたま
- 未知の世界でしたが、奥が深い
- ものづくりがすき



生涯建設産業で働きたいと思いますか?

- はい!
- まだわかんないけど今はそう思う
- ちょっとり他の業界も経験してみたい
- 建設業のいろんな業種を経験したい
- 建設業以外考えられない
- 1番かっこいい仕事!



5 tell me BLOCKS 職場のコミュニケーションと文化

コミュニケーションをとるコツを教えてください! 具体的な方法があればそれも教えてください。

- 笑顔で挨拶
- 積極的に話しかける
- まずは相手のことを聞いたり、ほめたりすると心を開いてくれやすい
- 目を見て話す
- 元気に話しかける
- わからないときはちゃんとわかるまで聞く
- 愛嬌
- 本を読んだり、ネタをつくる
- 相手に興味を持つ
- 仕事だけではなくいろんな話をする
- 共通点を探す
- 会話を続ける
- 顔を合わせて、小さいことでも共有する



建設産業に必要な能力は何ですか?

- コミュニケーション能力
- 体力
- がんばる気持ち
- 協調
- 聞く力
- チャレンジ力
- 挫けない心
- 段取り
- 学ぶ姿勢
- 向上心
- 探究心
- 元気



今の若い人への印象を教えてください!

- 元気がよくて、言いたいことが言えてる
- みんな大人っぽい
- ライフワークバランスを大切にしている
- おしゃれ
- いい意味で自由で個性的
- 明るい
- 新しい視点
- スマホ(デジタル)に詳しい
- 質問してほしい



施工スキルはどのように習得していますか?

- 先輩に教えてもらう
- 先輩に聞く
- 先輩のしごとをみて覚える
- ひたすら覚える
- とりあえずやってみる
- 資格をとる
- 勉強
- 現場をこなす
- 経験を増やす
- メモ
- 質問する

留学生、外国人は増えていますか?

- 会社にはいないけど、増えてきている
- 実習生がいます
- 多い
- 自国の料理などふるまってくれることも



建設もやりながらクラフトビール製造、農業へ
 鶴川さんは学生時代は放送部でラジオドラマのシナリオを書いていたとか！
 持ち前の明るさと想像力で、建設業のこれからの物語をどんなふうに描くのでしょうか。



MICHIKO TSURUKAWA

鶴川道子 東九工業株式会社(中津市)



人材不足と人材育成にも課題があります。
 「オレの背中を見ろ」が通用する世界を見直し、現場のノウハウをしっかり継承していかなくてはと感じています。会社では外国人スタッフとの、コミュニケーションを円滑にするために、現場が離れていても電話で雑談をする、そんな時間を大事にしています。

人材登用、人材育成の課題

社会に貢献するインフラ整備の意義や、自社が関わったものが形として残ることにやりがいを感じます。また、土砂崩れで通学路が寸断された地域で地元の建設業者が重機を出動させ、迅速に復旧を進めた事例を知り、「災害時に地域を守る、社会に貢献する建設業の役割の重要性」にも心を打たれます。

これから目指すもの

外国人従業員をはじめ、みんなが心地良く働ける環境をコミュニケーション能力を発揮して、作っていききたいです。また地域の同業者さんとの交流を図り、地域全体で建設業を盛り上げることも大事です。BLOCKSでできた繋がりから、土木を学ぶ高校生たちへの講演や横のつながりを活かして、建設業の魅力を発信していきたいです！

実は建設業の魅力に改めて気付いたのは、BLOCKSに参加してからなんです。BLOCKSで会うキラキラしている女の子たちが、仕事を楽しくて、「建設業ってカッコイイじゃないですか〜！」という姿を見て、目からウロコでした。社会に貢献するインフラ整備の意義や、自社が関わったものが形として残ることにやりがいを感じます。また、土砂崩れで通学路が寸断された地域で地元の建設業者が重機を出動させ、迅速に復旧を進めた事例を知り、「災害時に地域を守る、社会に貢献する建設業の役割の重要性」にも心を打たれます。

vol.10 Michiko Tsurukawa

vol.09 Mitsuyo Kira



MITSUYO KIRA

吉良充代 匹田電気工事株式会社(佐伯市)



結婚や子育てを経験したアラフィフだからこそ役に立てることがあると思う

父との約束を果たすために子育てを経て建設業界へ

吉良さんは箱入り娘だった。高校を卒業しても門限は6時。父親との約束を守っていたが、ひとつだけ守らなかったことがある。それは、父と同じ建設業界で働くことだ。「これからは女性も土木の世界で働く時代が来るぞ。お父さんと一緒に働こう」。吉良さんは、その言葉に背いて一般事務の仕事に就くと、やがて結婚。子供を授かり幸せのピークを迎えるが、その頃に父は他界し、孫の顔を見ることができなくなった。吉良さんは父と一緒に働けなかったことを後悔したが、出産し子育てが始まると息づく暇がなかった。そしてひとり息子を22歳まで育て上げると、再び後悔の念が押し寄せた。そんな母の心を見透かしてか、息子は「やりたいことに挑戦したら」と背中を押した。吉良さんに迷いはなくなった。忘れ物を取りに行くように建設業界の扉を開けた。49歳の時だ。

男性と同じことができない続けるべきか自問自答の日々

吉良さんが就職先に選んだのは匹田電気工事株式会社。求人情報誌に載っていた「未経験者OK」の文字に誘われた。はじめは書類作成の仕事と聞いてきたが「そのためには現場で勉強を」と言われ、会社では女性初の工務になった。作業着を着るのも、長靴をはくのも初めて。一輪車を押すのも初めてで、パランスがとれずに現場でよく転んだ。重い物は男性が代わりに運んでくれる。高所の作業は「下にいいよ」と言われる。第二種電気工事士の資格は取ったものの、現場で即戦力にならない自分が立ち、「場違いだった」と建設業を志したことを悔やむ日々が続いた。そんな時、社長が紹介してくれたのがBLOCKS。「一人前の職人になることを願わない。それよりも得意なコミュニケーションを生かして何かしてほしい」と言って外の世界へ送り出してくれたのだ。

私のままでいい、と気づいたBLOCKSメンバーとの出会い

吉良さんがBLOCKSに参加して驚いたのは作業服を着た女性の数、ひとりじゃないと気づかされた。「会社では男性の雰囲気に合わせていたけれど、ここにいる人はネイルやマツエクなど、女性でいることを楽しんでいる。私も自由でいいんだと、心のモヤモヤが吹き飛びました」。吉良さんは照明器具の取り付けに、初めて一般宅に訪れたことを回想する。線を切り過ぎないように、慎重に作業をおこなひ、無事に灯りが点ったときは涙が止まらなかった。そして依頼者から「女性で安心した。ありがとう」と言ってもらった感謝の言葉は、吉良さんへの最高のご褒美となった。「業界は若い人を求めています、現場にいる子供が安心したり、細かな片付けができて、この世代の女性が役に立つこともあると思うんです」。今、吉良さんは子育てを経て建設業界で働く50代女性のロールモデルになろうと頑張っている。BLOCKSで同じ業界で働く女性仲間と出会い、逃げずに自分と向き合う覚悟を決めたのだ。「この仕事は素晴らしい。父の言葉は本当でした」。そうやって涙を流す吉良さん。きれいな涙。嘘のない涙。吉良さんはやりとげるだろう。父に似た負けず嫌いの性格で。

MY HISTORY

- ▶ 大分県立佐伯豊南高等学校卒業。友達と県外へ行く！と就職先を選んでたのに、父に猛反対され断念(涙)。
- ▶ 地元に残る条件付きで就職先を探す。進路指導の先生から、ホテルのフロント業務の仕事勧められ、採用試験合格！したのに、私の人生において、一番影響力があるのは父(汗) 父も納得した一般企業の事務職に就く。卒業から23歳まで、一般事務の仕事5年。
- ▶ 23歳で結婚。仕事は続けていたが、家事と仕事の両立難しく、カレーが腐った事件が起こり、退職。専業主婦には向かなかったので、すぐに仕事を探して、司法書士事務所に就職。出産まで4年間勤務。結婚して、家と仕事の両立が難しくなり転職したのですが、司法書士川田先生との出会いで、法務に関わる仕事に興味を持つことが出来、今までの考え方がガラリと変わりました。
- ▶ 平成10年〜17年：子育て専念期間で専業主婦。
- ▶ 平成17年〜21年：短時間のアルバイトを始める。
- ▶ 平成21年〜令和2年、官公庁での仕事を始める。(法務局、裁判所、警察) 私とママにしてくれた息子との出会いは、私の原動力になっています。

体調を壊して休養
 ▶ 大分高等技術専門学校に行く。
 ▶ その後、匹田電気工事株式会社へ就職。
 自暴自棄でどうすればいいかわからず、止まっていた私の背中をポンッと押し下ろした渡邊社長。そして恐る恐る1歩踏み出した外の世界に、今まで見た事のないキラキラ、イキイキとした最高の笑顔で迎えて下さったBLOCKSの皆様。私の元気の源です。

KANAE NAKASHIMA

中嶋佳奈恵 株式会社 M・ZEC (中津市)

アトツギ、アイデンティティ、 建築だからできること

大学卒業後は星野リゾートへ就職。サービス業でのキャリアを経て、出産を機に地元へUターン。「建設業って超サービス業じゃん!」と家業である建設業の楽しさに気づくが、建設業を担っていくアトツギとしての自覚が芽生えるのはもう少し後のこと。いろんなご縁のつながりから、すこしずつ自分の可能性、建設業の可能性に心を開いていった中嶋佳奈恵という一人の女性の物語。

MY HISTORY

- ▶ 大分県立中津北高等学校卒業
- ▶ 立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋マネジメント学部 卒業
大学時代:国際学生や帰国子女の同級生に感化される。ルッキズムな中学・高校時代と違い、外見より内面を重視し、自分の得意なこと、やりたいことが明確な同級生が多く、大学に入学早々、自分が何が得意で何ができるのか? 何がしたいのか? という、自分と対峙する...という壁にぶち当たり、自問自答した数ヶ月を過ごしたあかげで、自分らしさに自信を持ちました。
- ▶ 星野リゾート入社
OJTトレーニング期間中に新規施設「星のや京都」の開業メンバーに立候補、サービススタッフとして、インバウンドの接客や広報対応、フロントマネージャーを経験
星のや京都の施設で働いている時、東日本大震災が起こりました。テレビがない施設だったので、ネットを通じてみた津波の映像は今も鮮明に覚えています。ゲストが到着できないという現場のイレギュラー、またこの日はちょうどカナダ人ジャーナリストの滞在をアテンドしており、彼が「日常や家族と過ごす時間の大切さ」を日本人とは違う視点で話していて、今まで仕事で楽しめてしよるがなかったけど、結婚や地元に戻ることを意識するきっかけになりました。
- ▶ 株式会社能作へ転職
パレスホテル東京店の店長を経て、店舗統括として、関西・北陸・九州の店舗の立ち上げを経験
子供が生まれたことにより、「うちの母、いつも楽しそう」と思われる母親になりたいなと思うようになりました。そんな時に参加したBLOCKS、OSWなどを経て、自分自身も変わっていく中で、「私も将来はM・ZECで働きたい」と話している娘の姿を見て、娘の選択肢を残せるようにしようと思ひ、後輩として覚悟ができました! TATEYAについて発表したOSW.言ったからには実行に移さないと!と、責任と覚悟が決まりました。
- ▶ TATEYA.Glocally HOTEL オープン
夢が形になり、「感謝」というワードが本当に身に沁みた瞬間でした。同時に責任も増していますが、好きなことをしてるから頑張れる! いろんなことがますます自分ごと捉えられていることを実感中です。



ただ継ぐだけではなく、その自分のやりたいことをプラスしていけたらと。小学生の娘が「私も将来はエムゼックで働きたい」と言った時には、将来エムゼックで働くという選択肢も残してあげないとという気持ちが重なって、アトツギという自覚をもって会社に携わりたいと思いました。

BLOCKSに参加してからの2年間は、本当に私自身の気持ちも、周りへの影響もとても大きかったです。これからは、私の気持ちだけでなく、私を期待してサポートしてくれる方々へ返すためにも、想いをカタチにしていく時期だと感じています。

■ 建築と女性活躍

建築はサービス業と言いましたが、すごくサービスマインドが必要な仕事です。個人の住宅を建てたり、リフォームしたりする仕事にかかわっていますが、見学にいらしたときに女性がいてだけで喜ばれます。キッチンの相談とか...、普段から台所に立っている人のほうが話しやすいですよ。提案が主体の仕事になるので、相手が何をどこまで欲しているか、察する能力が求められます。また、施工の現場は男性が多いですが、顧客の求めるものを現場まで情報としてちゃんと届けられるかが重要です。公共工事の場合、顧客は行政になりますが、その先には市民の生活があるということを理解して広報・情報発信していくことが大切です。こんなふうには建築と言ってもいろんな役割があるので、キツイ、汚い、外仕事といった悪いイメージを変えて、もっと関わる人を増やしたいです。建築は街をデザインして、命を守る社会的意義のある仕事です。もっと地域と関わり、地域の悩みを解決していきたいです。

覚を持って仕事に携わっていましたが、その想いがキチンと伝わってなかったと思うし、家族だからこそ踏み込めない敷居はあった気がします。OSWのファイナリストとしての発表を通して、そこで出会った周りの方々が「それいいやん!」「やろうよ!」と応援、サポートしてくれ、面白がってくれました。だからこそ両親にもその想いを伝えることができたと感じています。

現在、新事業を進めはじめていますが、社内のスタッフもとても協力してくれています。現場の仕事も担う中で、できるだけ私が外に出たり、新事業の準備ができるようにと作業を分担して、協力体制をつくってくれています。

■ その他の変化

地元の学生がインターンシップや会社見学に来てくれるようになりました。今までは男子生徒が多かったのですが、ここ数年は女子生徒も来てくれ、えむゼっくん(弊社のマスコットキャラクター)をカワイイと興味を持ってくれたことが嬉しい反応でした。採用面では、時短・在宅勤務可能な広報業務を担うスタッフの採用をしました。広報の大切さをBLOCKSで学び、それをメイン業務とする仕事を作れたことも、会社としては1つ変化した面だと感じています。また各スタッフの得意不得意をカバーして効率化しようということで、現場スタッフが担っていたオフィス業務を総務部でサポートしています。総務部は残業なく退勤し、現場スタッフも現場から戻って直帰できています。

■ アトツギの自覚

そんな変化の中で、徐々にアトツギという自覚が生まれてきました。みんなの支えと期待に応えていきたい気持ちもあります、

■ 「建設業はサービス業」という気づき

BLOCKSに参加して、県内の建設会社で楽しくやりがいをもっている女性達が沢山いることを知りました。そこで刺激をもらって、私ももっと自分らしく楽しく働いて、こんな仲間を増やしたい!と思いました。成果発表会へのチャレンジは、自分のサービス業での経験が建設業に活かせるということに気づききっかけとなりました。自分の中では当たり前な事ばかりで、それが役立つ可能性もあると感じたことがなかったんです。また成果発表会での登壇を新聞などで取り上げていただいたことにより、取引先からの印象が変わりました。「頑張っているね」や「新聞みたよ」などの声をいただき、自分自身は何も変わってないのに、自分の言葉で発言することの大切さを感じました。

■ 広がるご縁、深まるアイデンティティ

そんな経験を通して、しだいに家業を意識するようになりました。社内外の仲間づくりをしたいという思いでBLOCKSに参加しましたが、自分が会社のために何ができるかと考えて選んだのが、Oita Starring Woman [大分県女性起業家創出促進事業(以下「OSW」)]への挑戦です。何ができるかわからないけど何かしたいという気持ちはあったので「挑戦しない手はないな。」くらいの軽い気持ちで参加しました。(笑)それから「何がしたいか?何ができるか?」と考えつづけて数カ月。ファイナリストとして発表した時には、一緒に仕事する両親が変わっていききました。「そんなにやりたいのなら協力するよ。」と言ってくれたのは大きかったです。それまでも家業に生まれた長女としての自



MY PRESENTATION for BLOCKS



株式会社 M・ZEC について

BLOCKS

スキルアップセミナー参加企業一覧

SUPPORTERS

アイテック株式会社
株式会社安部組
株式会社安東建設
株式会社 e スタイル
株式会社宇佐建設
株式会社白杵造船所
株式会社エアーール
株式会社 M・ZEC
有限会社江本組
公益財団法人 大分県建設技術センター
大分市役所公園緑地課
株式会社小川工業
小代薬師工業株式会社
小田開発工業株式会社
鬼塚電気工事株式会社
角栄建設工業株式会社
梶原工業有限会社
株式会社川田塗装
河津建設株式会社
株式会社河野測量設計
九建プロテック株式会社
協同エンジニアリング株式会社
株式会社共和測量設計
株式会社クイック工業
株式会社栗木精華園
株式会社コイシ
煌榮建設工業株式会社
株式会社後藤組

後藤建設株式会社
株式会社古宮工業
株式会社小森建設
斎藤土木有限会社
有限会社酒井建設
佐々木建設株式会社
佐々木工業株式会社
菅原建設株式会社
有限会社佐田建設
三光建設工業株式会社
有限会社首藤建設
有限会社信栄建設工業
新成クリアート株式会社
伸和建設株式会社
新和リファイン株式会社
株式会社末宗組
末宗建設株式会社
ストックハウム
SEG HAUS
株式会社センコー企画
株式会社創計
大洋測量設計株式会社
株式会社高山組
タカラ工業株式会社
株式会社タクシステム
タナベ環境工学株式会社
谷川建設工業株式会社
東九工業株式会社

株式会社東豊開発コンサルタント
東洋測量設計株式会社
株式会社友岡組
株式会社友岡建設
株式会社友繁建設
ナカノ建設工業株式会社
西日本土木株式会社
株式会社日建総合建設
株式会社日昇建設
日伸建設工業株式会社
日本ハウジング株式会社
株式会社日本電工
ニューテクノファースト株式会社
株式会社野村建設
匹田電気工事株式会社
有限会社双美工務店
株式会社平和建設
豊國建設株式会社
株式会社堀土木
三浦国土建設株式会社
宮脇建設株式会社
株式会社盛田組
柳井電機工業株式会社
有限会社湯地建設
株式会社豊産業
有限会社由布
株式会社ラックワイド
株式会社和田組



参加企業
<https://suits.media/blocks/corporate>

MESSAGE FROM

講師陣からのメッセージ

INSTRUCTORS



堤 梨佳

一般社団法人学びに SPARK を
代表理事
(D&I コース 講師)

「コミュニケーションの壁突破のススメ」を講義させていただきました。受講していただいた方はみなさん積極的に参加され自分の意見を堂々と仰っていて、壁を軽やかに突破されていく姿が簡単に想像できませんでした。引き続き、いろんな方とのコミュニケーションを「そう来たか!」とぜひ楽しんでもらえたらと思います。



竹林 みか

フリーランスライター
(ブランドマネージャーコース 講師)

自ら学びを深め、業務に活かそうとする皆さんの前向きな様子、素敵でした。制作課題を拝見した瞬間、個性にあふれ、真剣に取り組んだと一目でわかる文面に感激しました。短い時間でしたが、皆さんと文章について考える時間を共有でき本当に嬉しく思います。お疲れさまでした。



穴戸 美優

株式会社 Judy's Network
(ブランドマネージャーコース 講師)

皆さんのような建設業界で活躍している女性の存在をいろんな人に広く知ってもらいたいと心から思っています! 応援しています!



児玉 裕美

株式会社 penelope
(ブランドマネージャーコース 講師)

建設業界で働く女性の皆さんは、とても明るく前向きです。ぜひ写真を通じて建設業界や会社の魅力を多くの人に伝え、業界や女性の可能性を広げていってください!



諸戸 智霞

キャリア形成・リスクリング推進事業 (株式会社パソナ)
(D&I コース 講師)

これまでを振り返ることで、一人ひとりキャリア観が違うことがわかり、そして自分を知ることで、これからどんなことを取り組みたいかの軸がはっきりしてくると思います。ぜひご自身のキャリアプランニングとともに、自社のキャリアマップづくりなど働く一人ひとりのキャリアが育める組織づくり取り組んでいただけたら幸いです。



篠原 丈司

社会保険労務士篠原事務所
(プロジェクトマネージャーコース /D&I コース 講師)

(1) 担当したタイムマネジメント講座では、ライフデザインに向かって自分らしく生きていく手法などをお伝えしました。建設業に関わる皆さんが自分らしく活躍することで、所属する会社はもちろん、業界や地域、社会全体に活気が生まれます。皆さんの奮闘を応援しています。

(2) 大分県の求人倍率は全国的にも非常に高く、特に建設業界は人手不足が顕著な状況にあります。だからこそ、女性を人手不足解消のカギと位置づけるのではなく、それぞれの個性や能力を発揮できるような職場環境を構築していくことが、これからの最重要経営課題と言えるでしょう。



橋本 華恋

キャンパ女子株式会社
(ブランドマネージャーコース 講師)

建設産業でご活躍の皆さま、この度はお目にかかる機会をいただきありがとうございます。皆さまの熱意あふれる姿に触れ、建設産業が新しいアイデアと技術革新を通じてさらなる成長を遂げる可能性を強く感じました。これからも日本を支える重要な基盤として、誇りを持ち、一歩一歩前進されることを心より応援しております。



白木 綾美

清水建設株式会社
(D&I コース 講師)

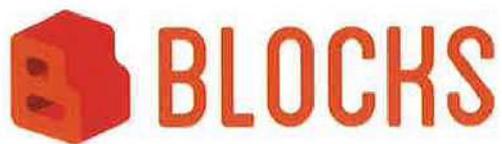
BLOCKS のみなさんに会うと、「ホントに建設業で働いているの?」と思うほどキラキラしています。輝いているのは、会社の枠を超えて、BLOCKS という居場所と仲間がいるからでしょうか。私は彼女たちとの会話で、建設業に大手も中小企業もないことを教えてもらいました。どこにいても発見があるのは楽しいですね。



戸田 和子

Code for OKAN
(D&I コース 講師)

「DX」のキモは「変わっていくこと」。様々なライフステージの変化を乗り越えて強さとしなやかさを身につけた女性たちは、変化を恐れず新しいものに積極的に挑戦できると信じています。IT ツールや AI などを味方につけ、どんどん進化し続けてください!



企画 アイ.ジー.シー株式会社
_Producer ERI MIYAWAKI
_Community manager MIDORI SHIOTSUKI
_BrandDesign TATSUYA IMOTO
_Assistant HONOKA OGATA

写真 HIROMI KODAMA / SAKI GOTO (株式会社 penelope)
ライティング FUKI SADAMOTO / YUKIKO NISHIMURA
デザイン YU ANAI (anaikim)
編集 iGC

発行元 大分県土木建築部
事業名 大分県建設産業女性活躍加速化促進事業
URL <https://blocks.jp/>

2025年2月1日発行
©2024 BLOCKS